

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業 実績総括表

(単位:円)

事業主体	事業項目	事業名	事業費	うち支援金
伊那市	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫枯損木処理事業	3,135,660	2,998,000
小計			3,135,660	2,998,000
駒ヶ根市	木を活かした力強い産業づくり	林道補修事業	2,090,000	1,277,000
小計			2,090,000	1,277,000
辰野町	木を活かした力強い産業づくり	ほたる童謡公園内防護柵改修	1,067,000	1,003,000
小計			1,067,000	1,003,000
箕輪町	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害木利活用事業	1,150,600	981,000
小計			1,150,600	981,000
飯島町	みんなの暮らしを守る森林づくり	林道補修事業	1,363,650	672,000
小計			1,363,650	672,000
南箕輪村	木を活かした力強い産業づくり	地域材木製品購入事業	770,000	715,000
小計			770,000	715,000
中川村	木を活かした力強い産業づくり	県産材利用促進事業	5,758,560	674,000
小計			5,758,560	674,000
宮田村	木を活かした力強い産業づくり	林道整備事業	957,000	590,000
小計			957,000	590,000
合計			16,292,470	8,910,000



## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	伊那市
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫枯損木処理事業
事業費 3,135,660 円 (うち支援金: 2,998,000 円)		

### 事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害は年々被害が拡大しており、大径木や住宅・道路付近の松枯損木については通常の伐倒が困難なため、特殊伐採が必要になるケースが増加している。

(2) 本事業の目的

特殊伐採による松枯損木処理を実施することで、松くい虫被害の拡大を抑えると同時に、倒木による被害を未然に防ぐこと。

### 事業内容

(1) 実施場所 伊那市松枯損木処理業務実施場所で、特殊伐採を要する場所

(2) 対象者 市内の森林所有者及び松枯損木処理委託業者

(3) 実施方法 民家・道路付近や大径木等の処理で、松林健全化事業及び保全松林緊急保護整備事業（衛生伐）の補助対象にならない特殊伐採処理を行なう。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成 30～令和 4 年度） 交通量の多い道路沿いや住宅付近などで、特殊伐採が必要のなる箇所について事業を実施する。

②令和元年度実績

伊那市御園アクセス沿い、伊那市美篤南割、伊那市中央区東台  
伊那市美篤南割集落センター、伊那市小沢、伊那市美篤上川手  
事業費 3,135 千円



## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

人家や幹線道路、通学路付近等に発生した松枯損木は、通常の伐採では対応できず、重機の使用やツリークライミング等の特殊伐採を積極的に実施し、倒木による被害を未然に防ぐとともに、松くい虫被害の拡大を抑え健全な森林づくりを推進する。

処理木の搬出が困難な場所で多量に発生した枯損木については、搬出路を設置し搬出・破砕処理を行うことで森林環境の悪化を防ぐ。

### (2) 継続性

松くい虫被害は、道路沿いや山際などに特殊伐採を必要とする森林に沿って拡大する傾向があるため、継続して事業を実施することにより松くい虫被害の拡大抑制と倒木による被害の防止を図る。

### (3) 普及性

特殊伐採を実施し、危険な松枯損木を処理することで、市民の暮らしを守り、里山の森林整備を推進することができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

本事業については、交通量の多い市道の沿線と、住宅や施設に倒木による被害を及ぼしそうな箇所では松くい虫枯損木の特殊伐採処理を実施し、松くい虫枯損木の倒木による被害を抑えることができた。

### (2) 課題

特殊伐採を必要とする松くい虫枯損木処理は年々増加傾向にあり、財源の確保が課題となっている。

### (3) 今後の取組方向

#### ■事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害の拡大に伴い、特殊伐採を必要とする松くい虫枯損木処理が増加する傾向にあるため、今後も引き続き事業を継続する。

#### □事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

#### □事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	駒ヶ根市
----------	------

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	林道補修事業
事業費 2,090,000円 (うち支援金: 1,277,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

駒ヶ根市における森林面積は 12,477ha であり、総面積の 75% を占める。そのうち民有林面積は 9,111ha である。民有林の人工林面積は 4,743ha で、人工林率は 52% となっている。

#### (2) 本事業の目的

上記の現状と課題に対し、木材生産を進める森林における適正な林道管理により、計画的な森林施業の実施促進を支援する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 実施場所 林道天白高鳥谷線・林道大入線

#### (2) 対象者 駒ヶ根市

#### (3) 実施方法 公共補助林道事業の対象とならない林道天白高鳥谷線・林道大入線の維持管理及び補修を行う

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度) 総額 12,500 千円の事業計画により維持管理等を行う

②令和元年度実績 林道天白高鳥谷線の維持管理及び補修

路面補修 一式 側溝整備工 一式

林道大入線の維持管理及び補修

横断修繕 一式



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

林道の維持管理及び補修を実施することにより、計画的な森林施業の実施促進が期待できる。

### (2) 継続性

維持管理が適切に行なわれていない林道は災害等に脆弱である。例えば、降雨による路面洗堀や、落葉及び落石などによる水路閉塞等が引き金となり被災しやすい。また、復旧までに時間を要し本来の目的の達成が困難となることから、災害等を未然に防ぐ取組みとして事業効果の継続性を発揮できる。

### (3) 普及性

林道は登山やトレッキングにも活用され、観光振興の観点からも重要である。また、民有林における人工林の搬出間伐を進めていく中で重要な位置づけであり、林道を基幹に作業道開設等も行われるため、多くの県民への恩恵が期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

林道補修により、計画的な森林施業の実施促進が期待できる。

### (2) 課題

降雨や、落葉及び落石などによる水路閉塞等により、補修後も路面洗堀等が起こってしまう可能性がある。災害等を未然に防ぐためにも適切な維持管理を継続的に実施されたい。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	辰 野 町
----------	-------

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	ほたる童謡公園内防護柵改修
事業費		1,067,000 円 (うち支援金: 1,003,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

県産間伐材の普及が活発ではなく、林業が停滞気味である。また次世代への担い手不足も否めない状況である。

#### (2) 本事業の目的

時季にはほたる見物で賑わう「ほたる童謡公園」に、県産間伐材を利用して防護柵を改修するとともに、森林税活用事業をPRすることで、間伐材利用の促進と森林税のPRを図る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ほたる童謡公園

(2) 対象者 ほたる童謡公園に訪れる人

(3) 実施方法

ほたる童謡公園内防護柵の改修工事とともに、県産材利用及び森林税活用事業をPRするプレートを設置する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和元～4 年度) ほたる童謡公園内防護柵改修工事

②平成 30 年度実績 しだれ栗森林公園管理棟デッキ修繕工事



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

県産間伐材の利用及び森林税活用事業をPRするプレートを設置することにより、訪れた人達に間伐材の有効利用と森林税活用事業のPRができ、木材利用の大切さ及び森林整備の促進が期待できる。

### (2) 継続性

ほたる童謡公園では防護柵が整備されていない箇所が多数あり、そうした箇所にも県産間伐材の有効利用と木材利用の大切さをPRしていき、森林整備の促進が期待できる。

### (3) 普及性

公園の利用者やほたる鑑賞に多くの観光客が訪れることにより、木材利用の大切さ及び森林整備の促進が期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

トラロープが張ってある箇所の改修工事を行ったが、県産間伐材を利用した為、材の利用促進が図られ、景観も良くなった。また新聞記事でも掲載予定であり、ほたる童謡公園及び森林税のPRを行う予定。

### (2) 課題

防腐剤注入加工は行っているが、雨風にさらされる箇所であり腐食等が考えられるので定期的な安全点検やメンテナンスが必要。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

ほたる童謡公園防護柵改修

しだれ栗森林公園案内板改修

しだれ栗森林公園防護柵改修

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 令和 元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

箕輪町

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしと守る森林づくり」に関する事業	松くい虫被害木利活用事業
事業費 1,150,600 円		(うち支援金: 981,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫による松枯れの被害が発生しており、伐倒くん蒸処理をした処理木が山林内に残されている。その処理木が崩れ落ち、人や道路等に被害をもたらされることが懸念され、特に道沿いの傾斜地に残された処理木の処置が課題となっている。

(2) 本事業の目的

崩壊・落下すると人や道路に被害をもたらす可能性のある場所に残された処理木を搬出、加工(ウッドチップ、ベンチ、机等)し活用する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

町道 13 号線(観光地萱野高原への主要道路)、主要地方道伊那辰野停車場線沿いの私有林

(2) 対象者

森林所有者の同意を得て、箕輪町で実施予定

(3) 実施方法

主要道路沿線の森林所有者に同意を得たのち、残された処理木を搬出、加工(ウッドチップ、ベンチ、机等)し、町内の自然公園等で活用する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

① 全体計画(令和元年～5年度:5,000,000円(1,000,000円))

② 令和元年度実績:1,150,600円

搬出前



搬出後



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

危険視されていた主要道路沿いの傾斜地の処理木を除去し、処理木の崩壊・落下により起こり得る事故を未然に防いだ。また、増加しつつある松枯れ被害の処理木の利活用促進に取り組んだ。ウッドチップ化した処理木は、町内自然公園のウォーキングコース等の整備に活用予定で、地域住民等が森林に親しみ、健康増進を図ることができる。

### (2) 継続性

松枯れ被害の処理木は年々増加しており、主要道路沿いの傾斜地以外においても、安全性や景観面から、処理木を除去し利活用促進に取り組む必要がある。

### (3) 普及性

道路通行者の危険回避と山林所有者の不安を解消した。

## 事業の検証及び評価

(実施果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

処理木の崩壊・落下による事故を未然に防ぎ、山林所有者の不安も解消し、目的に沿った効果的な事業実施となった。

### (2) 課題

危険視していた道路沿いの処理木はある程度搬出できたため、別の搬出箇所の選定が必要となるが、搬出可能な場所（重機が入れる場所）が限られる。

ウッドチップは活用方法に限りがあるため、幅広い活用方法の検討が必要。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

搬出箇所、需要のある活用方法を再検討し、事業を継続する。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

飯島町

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林道補修事業
事業費 1,363,650円 (うち支援金:672,000円)		

### 事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

飯島町における森林面積は6,274.72haであり、総面積の72%を占めており、私有林面積は3,210.58haで51%を占めている。なお、アカマツ、カラマツ、スギ及びヒノキを主体とした私有林の人工林面積は1,673.48haであり、人工林率52%となっている。

#### (2) 本事業の目的

上記の現状と課題に対し、木材生産を進める森林における適正な林道管理により、計画的な森林施業の実施を支援し、均衡のとれた健全な林分造成を目指すものとする。

### 事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 実施場所 林道横根山線、駒ヶ岳線、板ヶ沢線

#### (2) 対象者 飯島町

#### (3) 実施方法 公共補助林道事業の対象とならない林道横根山線、駒ヶ岳線、板ヶ沢線の維持管理及び補修を行なう。

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(令和元～5年度)総額7,000千円の事業計画により維持管理を行なう。

#### ②令和元年度実績

ア 林道横根山線の維持管理 道路補修 16箇所 400,950円

イ 林道駒ヶ岳線の維持管理 路肩修繕 L=10m 464,400円

ウ 林道板ヶ沢線の維持管理 石積補修他3箇所 498,300円



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

林道の維持管理及び補修を実施することにより、搬出間伐の増大が期待できる。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

維持管理が適切に行なわれていない林道は災害等に脆弱であり、降雨による路面洗掘、落葉及び落石による水路閉塞等が引き金となり、被災しやすい。一度被災すると復旧までに時間を要し、本来の目的(森林整備の推進)の達成が困難となることから、災害等を未然に防ぐ取組みとして事業効果の継続性を発揮できる。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

林道は里山等の登山路及びトレッキング等にも活用され、観光振興の観点からも重要な路線である。また、民有林における人工林の搬出間伐を進めていく中で重要な位置づけであり、林道を基幹に作業道開設等も行なわれるため、多くの県民への恩恵が期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

林道の維持管理及び補修を実施することにより、搬出間伐の増大が期待できる。

また、町の重要なライフラインである上水道の安定供給維持にも寄与できた。

### (2) 課題

降雨や、落葉及び落石などによる水路閉塞や倒木により、補修後の路面洗掘が起こってしまう可能性がある。災害等を未然に防ぐためにも適切な維持管理を継続的に実施していく。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き、予算確保及び自営工事等により適切な維持管理に努める。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

南箕輪村

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	地域材木製品購入事業
事業費		770,000円 (うち支援金:715,000円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

アカマツを主とした大芝村有林は、近年松くい虫の被害が甚大であり枯損木として処理されています。

古くから村民を中心に親しまれてきた森林であるため、単に松枯れ等で処分されるだけでなく、材として有効活用していくことも必要であると考えます。

#### (2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

アカマツを含む地域材を使った木製品(マーケットテント・木製遊具等)を購入及び各種イベントでの使用や貸出しなどにより、県産材木製品の普及・啓発を図ります。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 南箕輪村 大芝公園内

(2) 対象者 南箕輪村

(3) 実施方法 地域材木製品を購入し、各種イベントでの使用や貸出しを行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(令和元年度)

地域材木製品の購入

②令和元年度計画(実績)

地域材木製品の購入(マーケットテント、木製のぼりスタンド、木ぼっくり、経木)



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

アカマツを含む地域材を使った木製品であり、より親しみをもってもらえるとともに、木製の温かみや優しさを伝えることもでき、地域材の利用を促す。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

地元をはじめ広域的な活用も検討していくことにより、将来的に地域材の有効活用を図る。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

大芝高原を訪れた方々に木製品を見て触れていただくことで、それらの良さが伝わり、今後の活用の発展に寄与することができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

本事業については、村の顔である大芝高原の各種イベントで利用できるため、木製品の紹介や周知することが期待できる。

### (2) 課題

村として木製品を扱う事業は今まで全く行っていないため、継続的な事業として財源確保や木製品利用の必要性をさらに深めること課題となっている。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

村の木材の有効利用や活用方法を視野に入れ、計画性を持った事業展開を検討して継続を図っていきたい。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

中川村

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	県産材利用促進事業
事業費 5,758,560 円 (うち支援金: 674,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

中川村に広がる山林は地域の共有林として管理され個人に分割された森林が多いが、近年森林所有者の山離れが進み、整備が行き届かず放置された森林が目立つようになっている。木材価格の低迷や、次世代の担い手不足等も課題となっている。放置森林が増えることによって地域への鳥獣被害が深刻な問題となっており、長期的な視野を持った、早急な対応が求められる。

#### (2) 本事業の目的

県産材の利用促進を図るため村内の公共施設に県産材を利用した設備の充実を促進する。特に今事業実施箇所の中川中学校では玄関ホールにはふんだんに木材が使用されているが、下駄箱は長年使用され赤さびが発生している金属製の下駄箱となっている。昨年村有林内で間伐されたヒノキを使用した下駄箱に更新することで、玄関ホールもより暖かい空間となる。生徒にも木の温もりを直に感じて貰い、愛着をもって使用する心を養いたい。また、1年生は昨年村有林で開催された植樹祭にも参加しており、森林・林業への関心を持ってもらい、木材利用についてもさらに理解を深めて貰う事を目的とする。

### 事業内容

(1) 実施場所 中川村立 中川中学校

(2) 対象者 中川村

(3) 実施方法

- ・ 県産材(村有林からの間伐材)を使用した木製下駄箱の設置

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(令和元年度)

中学校下駄箱の木質化仮組状態で納品し、組み立て作業の一部を生徒と協力して行う。

②平成 30 年度実績

県産材を使用した階段スロープの設置(中川村陣馬形山頂)



## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

本事業の実施により生徒に村木であるヒノキを身近に感じてもらう事で、木のぬくもりや利便性を感じてもらい、木材への関心を高めてもらうと共に森林整備の必要性などがPRできる。

### (2) 継続性

村内の公共設備の更新や周辺森林の整備など、関係機関と連携しながら継続的に事業を進めていく。

### (3) 普及性

中学校の玄関ホールの下駄箱を県産材を利用して木質化することで、来校者や保護者にも広くPRすることができる。特に先生や生徒は毎日利用する物なので、木の温もりを肌で感じて貰う事ができ、大きな普及効果が見込まれる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

中学校の玄関ホールに村有林から搬出したヒノキ材を利用した下駄箱を設置したことで玄関がより明るく感じられ、ヒノキ独特のにおいや肌触りを身近に楽しんでもらえるようになった。教員や生徒だけではなく保護者や来賓者からも喜んでもらっており、本事業の目的は達成できたと考えている。今後も村内の公共施設を中心に木材をより身近に感じてもらえるような環境整備を進めたい。

### (2) 課題

木製製品である為、定期的なメンテナンス(防腐剤等のコーティング)が必要となる。時間が経過すると共に木材特有の色合いに変化していくのを楽しみながら、長く大切に使用してもらいたい。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今年度は中学校の毎日使用する下駄箱を木質化したことで、より身近に森林税や木材の温もりを感じてもらえる事が出来た。今後も村内公共施設の要望も取り入れながら整備を進めていきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

宮田村

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	林道整備事業
事業費 957,000 円 (うち支援金: 590,000 円)		

### 事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

計画的な間伐材の搬出及びトラックでの運搬時に、たびたび土砂崩落による林道の災害が起こり、間伐作業及び運材車両の通行に支障をきたしており、林道の被災等を未然に防ぎ、安全な車両の通行確保が求められる。

(2) 本事業の目的

計画的な間伐材生産を進めるため、災害等を未然に防ぎ、間伐材の搬出作業及び木材運搬車両の安全な通行を図る。また、林道終点にある宮田高原キャンプ場の利用者への利便を図る。

### 事業内容

(1) 実施場所：林道寺沢線

(2) 対象者：林業事業者、一般観光客

(3) 実施方法：林道脇に県産間伐材の丸太を利用した落石防護柵を設置し、林道法面から崩落してくる巨石、土砂を路面手前で防護する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
丸太防護柵	延長 L=6m	延長 L=8m	延長 L=8m	0	0

②令和元年度実績

落石防護柵設置工事 L=6.0m

着工前



しゅん工



## 事業効果

### (1) 事業実施の効果

落石防護柵設置工事を実施することで、通行車両の安全が確保され、森林整備の推進が図られる。

### (2) 継続性

防護柵を設置することで、通年安全対策が図られ、重機による毎年の土砂撤去費用が軽減される。

また、今後森林整備の計画的な実行が図られる。

### (3) 普及性

計画的な搬出間伐を進めていく上で重要な路線であるとともに、避暑地あるいは憩いの場として利用される宮田高原へのアクセス道路として観光振興の観点からも重要な路線であり、多くの県民への恩恵が期待できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

林道を整備したことにより、林道の保全及び、林産物搬出・造林等林道関係作業車両ならびに宮田高原キャンプ場の利用者の交通の円滑化・安全が図れた。

### (2) 課題

例年、豪雨による落石等もあり、定期的な点検と管理が必要である。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き、林道が安全に走行できるように林道整備を実施していく。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
丸太防護柵	延長 L=6m	延長 L=8m	延長 L=8m	0	0

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)